

第25回 京都フランス音楽アカデミー 受講申込書

受講申込書は、右記アドレスからもダウンロードできます。 academie.institutfrancais.jp

氏名	性別	生年月日
ローマ字	男 女	(西暦) 年 月 日 (才)
現住所	審査結果の通知先(現住所と異なる場合)	
Tel	Fax	Tel Fax
E-mail (必須)	E-mail (必須)	
学校名および学年、または出身学校名および職業	宿泊予約 <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない	
受講希望科目	弦楽室内楽ワークショップ参加を希望する場合のみご記入ください 希望編成: 受講希望曲:	
希望教授(ピアノとヴァイオリンの受講を希望する方のみご記入ください) 第1希望 第2希望 第3希望(ピアノのみ)	過去にマスタークラスに参加したことのある方は、そのマスタークラス名	
音楽歴(学歴、演奏活動歴など)	受賞歴(コンクールなど)	
これまでの指導者名、および現在の指導者名	京都フランス音楽アカデミー受講を希望する理由	
パリ・エコール・ノルマル音楽院への留学について スカラシップ受賞者決定のためのオーディションに <input type="checkbox"/> 参加する <input type="checkbox"/> 参加しない	備考	

※受講申込書でご提供いただいた個人情報は、当アカデミーの事務手続きおよび案内状送付のみに使用します。個人情報は、ご同意なく第三者に開示・提供・預託することはありません。
※音楽歴と受賞歴は、別紙(書式自由、A4サイズ)に記載して添付してもかまいません。
※パリ・エコール・ノルマル音楽院スカラシップ受賞者決定のためのオーディションについては、参加条件をよくお読みください。

ご案内

公開レッスン 3月28日(土)、29日(日)

アカデミーの授業は非公開であるため、期間中に各教授1回90分の公開レッスンを全クラス行います。

会場：アンスティチュ・フランセ関西 稲畑ホール
聴講料：2,000円(1科目1教授につき)、7,000円(1日通し券)
聴講券：2015年1月下旬発売予定 ※受講生は入場無料

受講生コンサート 4月1日(水)

各クラスから選ばれた優秀受講生(1クラス平均2名)のコンサートを開催します。

会場：京都市立京都堀川音楽高等学校 ホール
入場料：無料

第25回 京都フランス音楽アカデミー

アンサンブル・スペシャル・コンサート2015 3月27日(金)19時

アカデミーに招聘された教授陣によるコンサート。※受講生は無料でご招待

会場：京都府立府民ホール“アルティ”
入場料：4,000円(一般)、3,000円(学生)
協力：エラート音楽事務所(Tel. 075-751-0617)
チケット：2015年1月上旬発売予定

お問合せ・お申し込み先

京都フランス音楽アカデミー実行委員会事務局

Tel. 075-761-2114 (火~土 10:00~18:00、日・月・祝休) | Fax. 075-761-2169 | Mail. academie@institutfrancais.jp
〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町8 アンスティチュ・フランセ関西
名誉会長：ティエリー・ダナ(駐日フランス大使) 実行委員長：シャルラン・プロソー(在京都フランス総領事、アンスティチュ・フランセ関西館長)



第25回 京都フランス 音楽アカデミー 受講生募集

ACADÉMIE DE MUSIQUE
FRANÇAISE DE KYOTO

トップクラスの教授陣による指導で
あなたの音楽技術と感性を高めます。

2015年3月20日(金) - 4月1日(水)

(3月27日(金)は教授陣によるコンサートのため休講)

応募締切 | 2014年12月16日(火) ※必着

主催：京都フランス音楽アカデミー実行委員会
後援：京都市、在日フランス大使館
助成：公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
協賛：稲畑産業株式会社、パウエル・フルート・ジャパン、フジョー・シトロエン・ジャポン株式会社、
野中貿易株式会社、Les Harpes Camac, SACEM(フランス著作権協会)
協力：華頂女子高等学校、京都ハーブファクトリー、ホテル日航プリンセス京都
教育提携：パリ・エコール・ノルマル音楽院



お問合せ：京都フランス音楽アカデミー実行委員会事務局 〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町8 アンスティチュ・フランセ関西
Tel. 075-761-2114 Fax. 075-761-2169 academie@institutfrancais.jp ※ホームページURLを変更いたしました。 academie.institutfrancais.jp



INABATA & CO., LTD.



INSTITUT
FRANÇAIS

アンスティチュ・フランセ関西
JAPON - KANSAI



マスタークラス

募集人数 | 各クラス12名

京都フランス音楽アカデミーは、フランス政府公式機関であるアンスティチュ・フランセ関西(旧関西日仏学館)が主体となって1990年より運営されている日仏音楽交流事業です。毎春、フランスよりトップクラスの音楽家が来日し、約2週間のマスタークラスを開講。その規模、歴史、水準の高さから、フランス国外で行われる最も重要なフランス音楽教育の場となっています。

声楽・ピアノ・弦楽器・管楽器クラス

レッスンはすべてマンツーマンで行われます。課題曲は設けず、各受講生の希望する曲を指導。各受講生は、期間中5回の個人レッスン(1回約1時間)を受講します。

<p>フランス音楽留学 スカラシップ(奨学制度) 長期フランス音楽留学のチャンスに挑戦してみませんか。</p>
<p>パリ・エコール・ノルマル音楽院 スカラシップ 優秀受講生より最大3名 — 著名な音楽家が名をつらねる、伝統校への留学 —</p>
<p>2004年より、京都フランス音楽アカデミーはパリ・エコール・ノルマル音楽院と教育提携しています。アカデミーの優秀生にはパリ・エコール・ノルマル音楽院への留学の道が開かれています。スカラシップ対象者は、秋より1年間の授業に参加するための入学金と授業料が免除されます。 ※入学手続きは同音楽院の規定に従って行っていただきます。別途諸費用はご自身の負担となります。</p>
<p>スカラシップ受賞者決定のためのオーディション 3月30日(月)(予定) 下記の条件を満たす受講生のみ参加可能です。 <input checked="" type="checkbox"/> 2015年3月末日時点で年齢が26歳以下であること <input checked="" type="checkbox"/> パリ・エコール・ノルマル音楽院への留学経験がないこと <input checked="" type="checkbox"/> スカラシップを受賞した場合、2015年秋から1年間の留学が可能であること</p>

教授紹介 PROFESSEURS

<p>声楽</p>
<p>パリ国立高等音楽院にて、声楽、ソルフェージュ、オペラの1等賞を得て卒業。マリア・カナルス・バルセロナ国際音楽演奏コンクールで銀メダルを受賞するとともに、ラ・ロシェル現代音楽声楽コンクールの本選に出場する。その後、ライン・ドイツ・オペラのメンバーとして、6年間、ショスタコヴィチ「鼻」、オアナ「フェードルのための音節譜」などの舞台に出演。また、ナント、ポルドー、トゥールーズ、アヴィニヨンなどフランスの多数の歌劇場にて、モーツァルト「フィガロの結婚」、グノー「ファウスト」、ロッシーニ「婚約手形」、プッチーニ「三面屏絵」、メノッティ「領事」などに出演した。ジャン＝クロード・カサドシュ、ウイリアム・クリスティら指揮者との共演多数。また、ニューヨーク・メトロポリタン歌劇場では「ペレアスとメリザンド」メリザンド役で出演(ジェームズ・レヴァイン指揮)。95年よりパリ国立高等音楽院教授を務めた後、現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院教授。</p>
<p>ミレイユ・アルカンタラ Mireille Alcantara パリ・エコール・ノルマル音楽院教授</p>

<p>ピアノ</p>
<p>85年のショパン国際ピアノコンクール入賞以来、国際的に活躍するピアニスト。シャルル・デュトワ、マレク・ヤノフスキ、佐渡裕、ユードィ・メニューイン、ミシュール・ブラスンら著名な指揮者や、ロンドン交響楽団、フランス国立管弦楽団、NHK交響楽団などのオーケストラと共演。ヨーロッパの多数の音楽祭に定期的に招かれるほか、各地の主要ホールで演奏活動を行う。ピアノを学び始めたのはドゥニーズ・リヴィエールの下であり、続いてパリ国立高等音楽院でピアノをドミニク・メルレに、室内楽をジュリエーヴ・ジョワ＝デュティユーに師事した。また、パウル・パドゥラ＝スコダやニキタ・マガロフ、ミロシュ・マギンらの指導も受けた。こうした巨匠達から得た教えを、現在はパリ・エコール・ノルマル音楽院や多数のマスタークラスで、自身の弟子たちに伝えている。ディスコグラフィは多彩であるが、作曲家ではショパンを特に好んでおり、その録音は常に確固たる評価を得ている。</p>
<p>ジャン＝マルク・ルイスダ Jean-Marc Luisada パリ・エコール・ノルマル音楽院教授</p>

<p>ピアノ</p>
<p>3歳でピアノを始め、11歳で入学したパリ国立高等音楽院ではリュセット・デカーク、ジャック・フェグリエールに師事。ヴァンナ・ダ・モッタ国際ピアノコンクールとリアス国際ピアノコンクールで第2位、79年ゲザ・アング国際コンクール優勝。ソリストとしてゲオルク・ショルティをはじめ多くの指揮者と共演する一方、ナタン・ミルシテインらとの共演により室内楽への愛着も深める。ドビュッシーのエチュードの演奏でル・モンド・ドゥ・ラ・ミュージック誌賞、デアパソン誌賞、フランス・ディスク・アカデミー大賞を受賞した他、ベートーヴェンの「ディアバリ変奏曲」でシャルル・クロ・アカデミー大賞受賞。98年、4番目のペダル「ハーモニック・ペダル」を備えたピアノでベートーヴェンのピアノソナタ全曲をライブ録音。最新録音は、自身の編曲によるピアノ・ソロ版のストラヴィンスキー「春の祭典」。13年、東京でベートーヴェンのピアノソナタ全曲演奏会を行う。元パリ国立高等音楽院教授。</p>
<p>ジョルジュ・ブルーデル・マツパー Georges Pludermacher ピアニスト</p>

弦楽室内楽ワークショップ

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの各クラスの受講生を対象に、弦楽室内楽ワークショップを開催します。1回2時間のワークショップをアカデミー期間中に3回行います。参加希望者は、受講申込書に希望する編成(トリオまたはカルテット)と受講希望曲を記入してください。

指導教授：シルヴィー・ガゾー教授

受講登録料：1,000円

※ワークショップのみの応募はできません。

※ワークショップの時間、回数は変更される場合があります。

※受講希望曲が必ずしも演奏曲として決定するわけではありません。

現代音楽特別公開講座 3月24日(火)～26日(木)

フランス現代音楽の作曲家として確固たる知名度を誇るとともに、ライブ・エレクトロニクス音楽の研究における先駆者の一人としても知られるフィリップ・マヌリ氏を招き、特別公開講座を開催します(全3回、1回2時間)。アカデミー受講生は無料で聴講できます。事前申し込み不要。

聴講料：2,000円(1回につき)、5,000円(全3回)

会 場： アンスティチュ・フランセ関西 稲畑ホール

募集要項

<p>応募資格</p>	<p>13歳以上の音楽学生、演奏家。国籍不問。</p>
<p>指導内容</p>	<p>原則として12日間。各受講生は期間中5回の個人レッスン(1回約1時間)を受講。伴奏、通訳付き。受講生はどのクラスも聴講自由。</p>
<p>費用</p>	<p>入学金： 10,300円 授業料： 140,000円 弦楽室内楽ワークショップ登録料： 1,000円</p>
<p>応募締切</p>	<p>2014年12月16日(火)(必着)</p>
<p>合格発表</p>	<p>2015年1月中旬頃に郵送にて本人に通知</p>
<p>会 場</p>	<p>アンスティチュ・フランセ関西、ヴィラ九条山 他</p>
<p>練習場所</p>	<p>期間中、希望者に斡旋(要予約)</p>

<p>送付先 ▶ 京都フランス音楽アカデミー実行委員会事務局 〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町8 アンスティチュ・フランセ関西</p>

<p>ヴィオラ</p>
<p>43年生まれ。61年にパリ国立高等音楽院で1等賞を獲得。65年ミュンヘンの弦楽四重奏国際コンクールで優勝。65年～85年、パリ・オペラ座管弦楽団の首席ヴィオラ奏者、85年～90年、フランス国立管弦楽団の首席ヴィオラ奏者。豊かで美しく力強い音色によって、世界で最も才能あるヴィオラ奏者のひとりと評せられている。ヴァイオリンのレジス・バスキエ(弟)とチェロのロラン・ビドゥーとともに弦楽三重奏団を結成。レコード録音では、76年にディスク大賞、77年にフランス・ディスク・アカデミー大賞など多数の賞を受賞。様々な制作にも携わり、08年、ラジオ・フランスにて映画「青いババヤの香り」や「夏至」の音楽を担当したトン＝ツァ・ティエのヴィオラ・コンチェルトを演奏。数々の国際アカデミーでも教えており、72年よりパリ国立高等音楽院にて教鞭をとる。レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ章、芸術文化勲章オフィシエ章受章。</p>
<p>ブルーノ・バスキエ Bruno Pasquier ヴィオリスト</p>

<p>チェロ</p>
<p>ジノ・フランチェスカッティに助言を受けた後、アンドレ・ナヴァラ、フィリップ・ミュレール、マルセル・バルドン、ジャン・ユゴー、ムスティスラフ・ロストロポーヴィチに師事。これまで50ヶ国以上で演奏しており、ショスタコヴィチ弦楽四重奏コンクールやアンドレ・ナヴァラ国際コンクールでは審査員を務めた。バグリ、ショヴォーなどの作曲家から作品を献呈されており、積極的に初演にも参加。パッハ、ハイドン、ベートーヴェン、ブラームス、サン＝サーンス、ドヴォルザークらの作品のほか、多くの旅行から着想を得て自ら作曲した作品を多数録音。フランス・ディスク・アカデミー大賞受賞。14年、自身の作品の2枚目のアルバム「L'influence russe」を発表。現在パリ地方音楽院で教鞭を取るほか、各国の講習会で定期的に指導している。フランス国家功労勲章シュヴァリエ受章。使用楽器は1754年製J.Gagliano。弓は1825年製F.X. Tourte。</p>
<p>ドミニク・ド・ヴィリアンクール Dominique de Williencourt パリ地方音楽院教授</p>

<p>フルート</p>
<p>モーツァルトのフルート協奏曲K314を演奏した際、アダージョを聞いたバースタインに「彼はまさにパン(牧神)である!」と言わしめるほど称賞を得たフルーティスト。リヨン国立音楽院のマクサンス・ラリユーのクラスで満場一致の1等賞を得て卒業後、ブラハの春国際音楽コンクールでのグランプリなど、国際コンクールでの入賞多数。その後、シャンゼリゼ劇場(パリ)、アリス・タリー・ホール(ニューヨーク)、浜離宮朝日ホール(東京)、ウィグモア・ホール(ロンドン)、モスクワ音楽院、フェニーチェ劇場(ウィーン)など、各国のホールでリサイタルを行う。オネゲル、モーツァルト、シューベルト、C.P.E.バッハや上林裕子の作品をこれまでに録音している。コンサート活動と同時に指揮者としての活動や教育活動にも熱心で、現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院とカリフォルニア州立大学フラトン校にて教鞭を取る。アジア、ヨーロッパ、オーストラリア、アメリカでは定期的にマスタークラスでの指導も行う。</p>
<p>ジャン・フェランデイス Jean Ferrandis パリ・エコール・ノルマル音楽院教授</p>

<p>宿泊施設</p>
<p>希望者には合格後、予約申し込み書をお送りします。</p>
<p>受講申込み</p>
<p>下記の資料を当事務局までご送付ください。 ①受講申込書：音楽歴と受賞歴は、別紙(書式自由、A4サイズ以内)に記載して提出してもかまいません。 ②音楽歴を補完する下記の資料 ●音源：15分以内の演奏を録音した音楽用CD。曲目自由(ただし声楽クラス希望の場合、モーツァルトのオペラのアリアから1曲と、自由曲1曲)。氏名・曲名を記入すること。再生が可能かどうか必ず確認してからお送りください。CD以外の音源は受け付けられません。 ●その他の資料(任意)：推薦状やプレス記事、コンサートチラシなど(A4サイズに収めること)。 ③未成年者の場合は、保護者の氏名、住所、捺印、同行の有無を明記した書面を添付のこと。 ※音源、添付資料はお返ししません。</p>

<p>送付先 ▶ 京都フランス音楽アカデミー実行委員会事務局 〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町8 アンスティチュ・フランセ関西</p>

<p>オーボエ</p>
<p>パリ国立高等音楽院でオーボエ科と室内楽科の1等賞を得て卒業後、5つの国際コンクール(アンコーナ、プラハ、ミュンヘン、ベオグラード、ジュネーブ)で入賞を果たす。80年以來、モラガス木管五重奏団のメンバー。87年、パリ国立高等音楽院オーボエ科教授に就任。97年～09年、ロンドンのギルドホール音楽院オーボエ科教授。ソリストおよび指導者として世界各国に招聘されているほか、指揮者としてもマリインスキー歌劇場管弦楽団、シモン・ボリバル交響楽団、イル・ド・フランス国立管弦楽団などと共演。バスティッショ・バロッコ アンサンブルの創設者かつメンバーでもあり、室内楽奏者としても多数の演奏団体との共演を果たすなど、充実した活動を行っている。さらに、これまでソナタからオペラまで650曲以上の編曲を手がけており、自ら作曲した作品も30曲を超える。15年にはグリム童話を翻案した新作オペラを発表予定。</p>
<p>ダヴィッド・ワルター David Walter パリ国立高等音楽院教授</p>

<p>ハープ</p>
<p>ブリジット・シルヴェストルとビエール・ジャメの下で学んだ後、パリ国立高等音楽院でジェラルド・ドゥヴォスとクリスチャン・ラルデに師事し、81年にハープ科で、82年に室内楽科でそれぞれ1等賞を受賞。定期的には有名オーケストラに招かれ、これまでロリン・マゼール、ゲオルク・ショルティ、小澤征爾、リッカルド・ムーティ、ビエール・ブーレーズ、サイモン・ラトルなどの指揮の下で演奏した。現在は、自身が設立したトリオ・アンタラでの室内楽の演奏活動のほか、各国でソリストとして活躍。あらゆる表現形態を柔軟に受け入れ、ジョン・ケーージ、クロード・ブレー、フェリックス・イバロンド、トン＝ツァ・ティエら現代音楽の作曲家たちともコラボレーションしてきた。レコーディングでは、ハルモニオ・ムンディでの中世音楽から、ドイツ・グラモフォンでのビエール・ブーレーズ指揮による現代音楽のレパートリーまで、多様な分野に取り組んでいる。現在、パリ地方音楽院教授。</p>
<p>ギレーヌ・プティ＝ヴォルタ Ghislaine Petit-Volta パリ地方音楽院教授</p>

<p>現代音楽特別公開講座</p>
<p>52年生まれ。パリ・エコール・ノルマル音楽院とパリ国立高等音楽院で、マックス・ドイッチュ、ジェラルド・コンデ、ミシェル・フィリップ、イヴォ・マレクに師事。74年、クロード・エルフェによる「Cryptophonos」初演により、一躍その名を世に知らしめる。81年、IRCAM(フランス国立音響音楽研究所)に招聘され、数学者ミラー・バケットと共に、リアルタイムでのインタラクティブな音響処理のためのコンピュータ言語の研究に携わる。その研究から生み出されたのが、「Jupiter」「Pluton」など一連のライブ・エレクトロニクス作品である。教育の分野では、リヨン国立高等音楽院教授などを務めた後、カリフォルニア大学サンディエゴ校で教鞭を取った。パリ市賞をはじめ多数の賞を受賞しており、01年初演のオペラ「K...」は、フランス劇作家・作曲家協会大賞受賞。近年も、ピアノ、オーケストラ、エレクトロニクスのための「Echo-Daimonon」など、新作を発表し続けている。</p>
<p>フィリップ・マヌリ Philippe Manoury 作曲家</p>